

三重看護学誌投稿規定

三重看護学誌編集委員会

1. 本誌の名称および目的

本誌の名称を三重看護学誌（Mie Nursing Journal: MNJ）とする。MNJ は、看護学に関わる研究者、教育者、実践家等が、日々の研究・教育・実践活動上の課題や対策等について科学的根拠をもって広く一般に周知するとともに、独自性の強い研究成果を世に問うことを目的とする。そのため、幅広い看護学分野における論文を掲載し、原則として年 1 回発行する。

2. 投稿資格

原則として、筆頭著者または共著者に、以下の項目に該当する者が含まれているものとする。ただし、編集委員会で承認された場合には、この限りではない。

- 1) 三重大学大学院医学系研究科教職員
- 2) 三重大学医学部附属病院の職員
- 3) 三重大学大学院医学系研究科看護学専攻修了者等

3. 投稿原稿の種類

原稿の種類は 5 種類であり、それらの基準は以下のとおりとする。枚数は、図表を除くものとする。

1) 総説（12 頁以内）

ある主題に関連した研究の総括であり、多面的な知見の集約と文献等のレビューにより、当該テーマについての学問的状況の概説と考察を行ったもの

2) 原著論文（16 頁以内）

独創的な内容あるいは新しい事実に基づき得られた知見と実践への示唆について、論理的かつ学術的に述べられている研究論文

3) 研究報告（12 頁以内）

独創的な内容あるいは新しい事実を含み、得られた知見が論理的に述べられている研究論文

4) 資料（12 頁以内）

実践または教育の発展に向けて、論理的に科学的根拠を示した研究論文

5) その他（原則として 4 頁以内）

委員会報告、編集委員会からの依頼原稿（巻頭言など）

4. 倫理的配慮

研究の着手、計画、実施、成果公開のすべての過程において倫理的な配慮がなされた論文を投稿する。ヒトおよび動物が対象である研究は、研究倫理審査委員会等の承認を経て、その旨を論文中に明記する。

5. 利益相反

全ての著者は、発表内容に関係する企業・組織・団体との利益相反について記述する。発表する研究の遂行や論文作成において利益相反となる経済的支援を受けた場合は、その旨を「謝辞」欄の後に記述する。利益相反に相当しない場合は、「本研究における利益相反は存在しない」と明記する。

6. 執筆要領

原稿の作成は、別に定める執筆要領に従うものとする。

7. 投稿手続き

- 1) 投稿原稿を 3 部（正本 1 部、副本 2 部）印刷して提出する。ただし、副本には、投稿者氏名・所属、謝辞等の投稿者が特定される表記を削除する。
- 2) 投稿原稿を保存した電子媒体（USB メモリが望ましい）も提出する。電子媒体には筆頭著者名を記入する。
- 3) 本学ウェブサイトよりダウンロードした「投稿申込書」に必要事項を記入し、添付する。
- 4) 「三重看護学誌原稿」と表に朱書きした封筒に上記 1)～3) を入れ、受付期間内に下記に書留郵送または持参する。受付期間は、当該年度の初めに編集委員会が決定し、本学ウェブサイトに掲載する。

〒514-8507 三重県津市江戸橋 2-174

三重大学大学院医学系研究科看護学専攻内 MNJ 編集委員会

8. 原稿の受付および採否

- 1) 上記 7 の手続きを経た原稿の到着日を受付日とする。
- 2) 原稿の採否は査読を経て、編集委員会が決定する。編集委員会の依頼した者が査読を担う。
- 3) 査読により論文内容の追加・修正を求められた投稿者は、指定期間内に再提出する。期間内に再提出がない場合、投稿を取り下げたものとして扱われる。
- 4) 掲載論文の種類については、著者および査読者の意見を尊重し、編集委員会が最終的に決定する。

9. 校正

論文受付後の著者校正は原則 1 回とし、校正の際の加筆を認めない。

10. 著作権

掲載論文に関する著作権は、三重大学大学院医学系研究科看護学専攻に帰属する。掲載論文は電子化され、インターネット上に公開される。

11. 著者が負担すべき費用

- 1) 掲載料 原則として無料とする。
- 2) 別刷料 10 部を超えて別刷を希望する場合は、著者負担とする。

附 則

この規定の改訂は、平成 30 年 3 月 27 日より施行する。

三重看護学誌執筆要領

三重看護学誌編集委員会

1. 投稿する原稿は、未発表のものあるいは他の学術雑誌に投稿中でないものとし、原則として和文または英文とする。和文論文にも英文の題名をつける。

2. 原稿は、次の要領に従い、綴りの順序は以下の番号の順とする。

1) 表紙

表題（和文および英文）、著者名（和名の場合は英語併記）、所属（日本語表記）を記述する。また、本文枚数（文献を含む）、図・表および写真等の枚数をそれぞれ明記する。

2) 要旨

和文（400 字程度）および英文（250 words）とする。要旨の後には、5 単語以内のキーワード（Key words）をつける。但し、「資料」および「その他」の原稿には不要とする。

3) 本文

(1) 原稿は A4 判横書きで行番号を入れる。本文の書式は、和文では 1,200 字以内（30 文字×40 行）、英文ではダブルスペースとする。

(2) フォントは、和文においては MS 明朝体、英文においては Times New Roman を用い、文字サイズを 10.5 ポイント、英数字を半角表記とする。

(3) 年号には原則として西暦を使用する。

(4) 専門用語に略語を用いる場合、初出時に正式名を記述し、括弧内に略語を記す。

(5) 本文中の文献表記については、筆頭著者の姓と発表年を記す。著者が 2 名以上の場合の表記を以下に例示する。

例 1) 和名の場合

著者名が主語になる場合：「竹内ら（2017）は、・・・」

著者名を引用文の後に記す場合：「・・・（竹内 他, 2017）と述べている。」

例 2) 欧名の場合

著者名が主語になる場合：「Beck ら（2017）は・・・と述べている。」

著者名を引用文の後に記す場合：「・・・（Beck et al., 2017）と述べている。」

4) 文献

引用文献を著者名のアルファベット順に列記する。文献欄への表記を以下に例示する。

(1) 雑誌の場合

① 著者名（発行年）. 論文表題, 雑誌名, 巻（号）, 始頁 - 終頁.

(例)

畑下 博世, 鈴木 ひとみ, Denise Saint Arnault, 他 (2015). ストレス対処に関する日本人女性の文化的特性について, 日本地域看護学会誌, 18 (2-3), 13-22.

② Author A.A., Author B.B., Author C.C., et al. (year). Title of article, Journal name, volume (number), pp-pp.

(例)

Tanimura S., Shima M. (2014). A multi-agent-based model on the ripple effect from school-based interventions to the broader community: an in silico experiment, Journal of International Health, 29(2), 51-58.

③ 出版前のオンライン公開版の場合は DOI を付ける

(例)

Holm A.L., Severinsson E. (2014). Effective nursing leadership of older persons in the community –a systematic review, Journal of Nursing Management 22, Advance online publication. doi: 10.1111/jonm.12076

(2) 単行本の場合

① 著者名（発行年次）. 書名, 版数, 始頁 - 終頁, 出版社名, 発行地.

(例)

中野正孝, 西出りつ子 (2012). 初心者のための保健・医療系研究論文作成に必要な統計的方法の基礎知識 第 1 部 –統計的方法の予備知識と事例による統計解析 統計学活用のための予備知識, 第 1 版, pp.12-13. 情報機構, 東京.

(例)

Meleis A.I. (2017). Theoretical Nursing: Development and Progress (6th ed.), pp.61-63. Wolters Kluwer. China.

② 著者名（発行年次）. 分担部表題, 編著者名, 書名（版数, 引用始頁 - 終頁）. 出版社名, 発行地.

(例)

Imai N., Imai Y. (2011). Chapter 14 Necessity of Counseling Institution for Sick Building Syndrome Patients. Sabah A. Sick Building Syndrome: in Public Buildings and Workplaces (1st ed., pp.261-265), Springer, Heidelberg.

(3) 翻訳書の場合

- ①原著者名（原書籍刊行年）．原著書名．出版社名，発行地／翻訳者名（訳）（刊行年）．翻訳本名（版数，pp. 引用
始頁 - 終頁），出版社名，発行地．

（例）

Polit D.F., Beck C.T. (2004). Nursing Research Principle and Methods 7th ed. Lippincott Williams & Wilkins,
Philadelphia / 近藤潤子 監訳（2010）．看護研究 原理と方法（第2版 pp.26-27），医学書院，東京．

5) 図表

論文一編中の図（写真を含む）や表は，5つ以内とし，原稿の本文中には図表を挿入しない．別紙に，図 1，表 1，写
真 1，等の通し番号を付け，1 頁に 1 図表として原稿末尾に添付する．

附 則

この規定の改訂は，平成 30 年 3 月 27 日より施行する．

学外査読者名

高植 幸子（椙山女学園大学）

編集後記

三重看護学誌（MNJ）第21巻をお届けします。

今年度もMNJの発刊にご協力をいただき、ありがとうございました。

地球温暖化を感じさせる気象に加え、西日本豪雨災害、北大阪に続き北海道に生じた地震などの天災後に露となるインフラストラクチャーの脆弱性が話題になった1年でした。また、ラグビー部のタックル事件や不正入試問題などをきっかけに、日本の最高学府という組織のあり方を問われる事件が目立ちました。平成最後の年となった2018年は、自然に存在する目に見えないエネルギーの摩擦に社会が揺れ動き、その現象の意味を問うチャンスであったのかもしれません。

三重大学大学院医学系研究科看護学専攻も、博士後期課程の完成年度を迎える緊張感を持ちながらの活動が続きました。そして、その緊張感を良いエネルギーに変換し、比較的安定した1年を過ごせたのではないかと思います。

玉稿をお寄せくださいました皆様と、丁寧な査読をしていただきました先生方に心より感謝申し上げます。

今後のMNJ委員会の発展を祈念いたします。

平成31年3月

三重看護学誌編集長

今井 奈 妙

編 集 委 員

今井 奈妙・西出りつ子・竹内佐智恵・大北 真弓

三 重 看 護 学 誌

第 21 卷

| | |
|-------|--|
| 印 刷 | 2019 年 3 月 22 日 |
| 発 行 | 2019 年 3 月 22 日 |
| 発 行 者 | 三重大学大学院医学系研究科看護学専攻 〒 514-8507 津市江戸橋 2 丁目 174 番地 TEL (059) 232-1111 (代) FAX (059) 232-8065 |
| 印 刷 所 | 伊 藤 印 刷 株 式 会 社 〒 514-0027 津市大門 32 - 13 TEL (059) 226-2545 (代) FAX (059) 223-2862 |



P-00061
この印刷物は、C S R
に取り組む印刷会社が
製作した印刷物です。



GREEN PRINTING JFPI
P-B10216
この印刷製品は、環境に配慮した
資材と工場で製造されています。